

日の出キャンパス防災訓練



活動の概要

- 実施日
2024年3月18日（月）
- 実施場所
亜細亜大学日の出キャンパス
（室内練習場等）
- 参加学生
サッカー部（36名）、陸上競技部（18名）、
女子陸上球技部（17名）、硬式庭球部（1
名）、アジア女子ローンテニス部（1名）
- 協力
日の出町／秋川消防署

（目的）

日の出キャンパスを拠点としている学生が令和5年4月に日の出町と締結した「災害時における避難所等施設利用に関する協定書」に基づいて、災害時に日の出町民の避難場所となった際の役割について、防災体験を通じて活動できることを目指す。

（活動内容・成果）

参加学生を4班にチーム分けして、①簡易ベット&間切りスペースキットの組み立て、②VR災害体験車、③初期消火体験、④応急担架作成体験の4つの体験会に参加した。特に東京消防庁に1台しかない最新のVR災害体験車では、360°の立体映像と揺れ・風圧・熱などの演出による、地震・火災・風水害の疑似体験をした。また、日の出キャンパス内にある備蓄倉庫の場所確認をして、災害時における非常食の利用について、施設課職員から説明を受けた。



（今後の課題・目標）

いついかなる時に発生するか分からないのが災害。常に災害に対する意識が不可欠であり、今回のような防災訓練の実施を定期的に行っていくことで冷静な対応が可能となる。